

事務職員部会 実技・理論 研修会 終了報告

<p>テーマ</p>	<p>公立小中学校事務職員の日常的な実践の交流や研究協議を通して、子どもの学習権の保障や他職種との協力・協働のあり方等をさぐり、今後の実践にさらに活かしていく。</p>	
<p>日時</p>	<p>平成30年11月 9日(金)</p>	
<p>会場</p>	<p>札幌市 ホテルライフオート札幌</p>	
<p>講師 (指導者)</p>	<p>加藤 人資氏 (肩書:北広島市立双葉小学校 事務職員) 細川 貴史氏 (肩書:石狩市立聚富小中学校 事務職員) 斎藤 大輔氏 (肩書:石狩市立花川南中学校 事務職員) 毛間内 徹二氏 (肩書:池田町立池田小学校 事務職員) 管内公立小中学校事務職員</p>	
<p>参加者</p>	<p>約74名</p>	
<p>研修会 の様子</p>		<p>市町村独自研究交流。各市町村代表者による取組の説明後、小グループに分かれて独自で行っている研究について討議を行った。就学援助費事務、給食費事務、他職種や保護者向け事務だよりの発行等について、他市町村から情報を得ることにより、事務改善方法や研究について理解を深める機会となった。</p>
	<p>全体研修会(ミニ講座)。通信・情報基礎について専門的な知識を持つ事務職員を講師として、HP や SNS 等、身近な情報ツールの基本的な特徴について研修を行った。事務職員として今日的な情報環境の変化に対応する上で参考になるものとなった。</p>	
	<p>全体研修会(研修報告)。全国公立小中学校事務研究会参加者2名により、道外で行われている学校事務の取組や実践について報告がされた。</p>	
	<p>全体研修会。今年6月に提示された「全道協議会職務検討委員会答申」について、検討委員より答申の内容や歴史的な経過、法改正に関わって変化しつつある事務職員を取り巻く現状について報告がなされた。</p>	